

徳大卒業生 就職活動体験記(9)

名前：Gustav Malmros

(グスタフ マルムロス)

出身：スウェーデン

学歴：徳島大学総合科学部交換留学生

(2022年度 Lund University 卒業予定)

会社：富士ファニチア株式会社 (徳島)

仕事内容：営業・広報



(1) 私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？：

元々、スウェーデンのルンド大学で音楽を専攻していたのですが、日本のアニメが大好きで、2017年に同大学の人文学部日本語学科に転学科して以来、日本への留学を目指して日本語の勉強を頑張っていました。2年後の2019年に徳島大学総合科学部に交換留学生として学ぶことになり、在籍していた2年間は日本語と国際関係学について学びました。

徳島大学留学中、演劇部の活動を通して知り合った日本人の友達と交流を深め、アニメ以外の日本の良さに気づいてからは、次第に「卒業後は日本で就職して、できるだけ長い期間日本に住みたいな」と考えるようになりました。

(2) 就活で苦労したこと&成功したポイント：

私にとっては日本での就活全部が課題でした！就活・就職に求められる高いレベルの日本語、面接でのマナー、自己分析・業界分析など、自分にとってはすべてが目新しいもので、初めの頃は正直「日本での就職は難しいかも…」と考える時もありました。

そこで、日本での就職活動について全く知識がなかった私は、とりあえず留学生向けの就職セミナーに参加し、就職活動を始める時期や情報の収集方法、企業への応募方法について学ぶことにしました。ただ、当然のことながらセミナーで学んだだけでは就職活動を実践するのは難しいと感じたので、留学生の就職支援を担当する先生に個人的にサポートしてもらうことにしました。

その先生からの紹介もあり徳島県内の富士ファニチア株式会社を受けたのですが、助言に従って面接前には同社のショールームで実際に家具に触れてみるなどの工夫を取り入れた結果、内定を出して頂くことができました。とても嬉しく思っています。

(3) これからの就活に向けたアドバイス：

私からのアドバイスは、「留学生就職支援担当の先生と相談する」ことです。日本での就活は「闇の中をボートで目的地に向かう」ようなもので、誰かガイドしてくれる人がいないとうまくいきません。運よく日本人の友達と一緒に就職活動ができればいいでしょうが、「1人で就職活動をやります」という留学生が大半かと思います。ですので、今すぐに就職支援担当の先生と相談し、1日も早く就職活動をはじめようようにしてください！